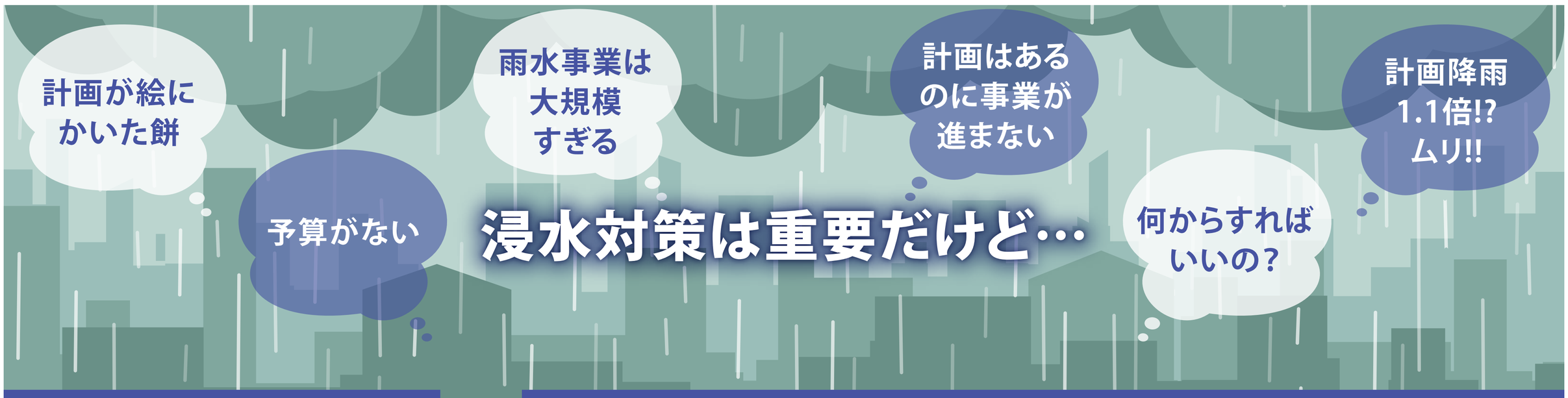
TECHNOLOGY

一歩先の浸水対策

これからの気候変動・流域治水を見据えて

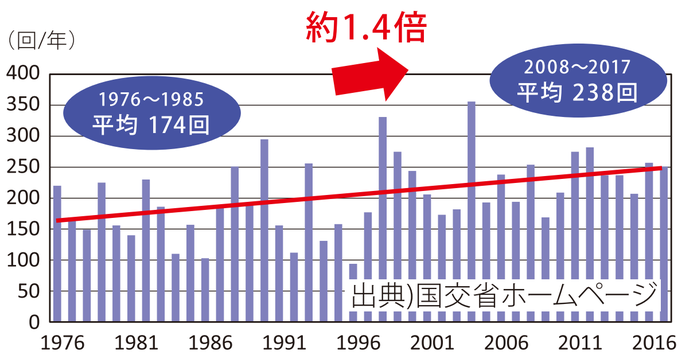
潤いある未来へ 株式会社日水コン は、あらゆる規模の自治体、多数の国交省業務の実績を活かし、
貴自治体(あなた)にベストフィットする時代を見据えた一歩先の浸水対策を提案します。



気候変動 浸水リスクの増大

近年、浸水被害が増加しているが、今後は気候変動による更なる降雨量の増加やゲリラ豪雨の頻発が懸念

出典）NHKニュース

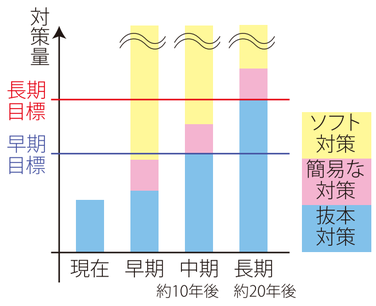


50mm/hr以上の降雨の年間発生回数

雨水総合管理計画

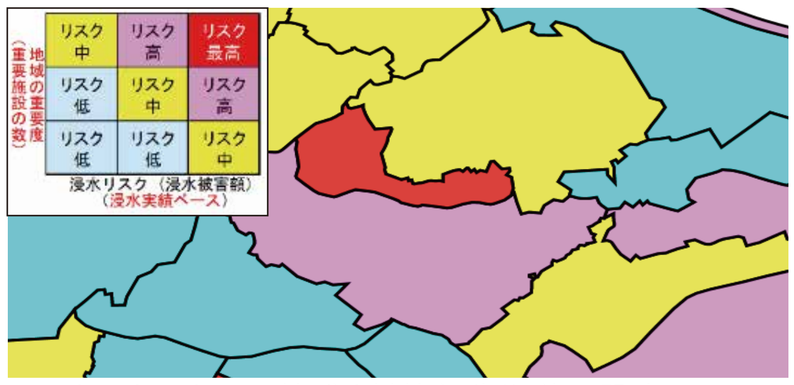
雨水管理方針

対外的な説明責任も果たせるように浸水実績やリスク、重要施設を基にした適切な整備優先順位を設定



段階的対策方針

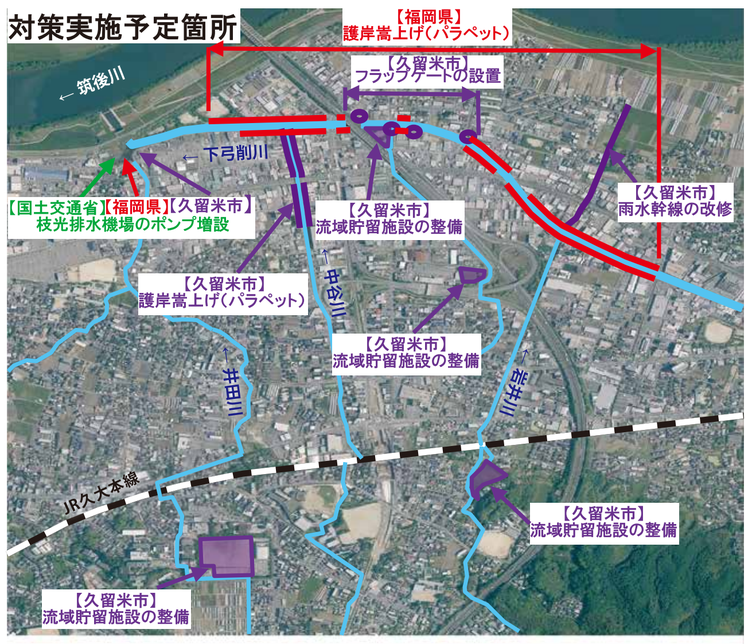
委員会の設置



リスクマトリクスに基づく対策優先順位の設定

流域治水・段階的対策計画

浸水被害の早期軽減と事業費の最小化を実現するため、流域全体 (下水,河川,港湾等) による計画策定を提案



久留米市での流域対策検討結果

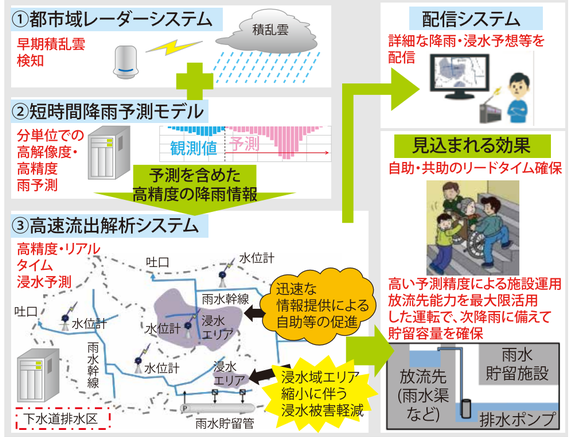
ハザードマップ

地域に応じた外力設定による適切なリスクの見える化

出典）内水浸水想定区域図作成マニュアル（案）に一部追記

リアルタイムシミュレーション

観測技術と高速で高精度の解析により、リアルタイムの予測が可能



効果的かつ実施可能な対策

効果、コスト、施工性等の視点から計画

◀フラップゲート

出典）中部美化企業株式会社HP

▶無動力ゲート

災害復旧

大規模災害の復旧支援実績あり

H30西日本豪雨も復旧支援（広島県海田町）

BCP

想定最大降雨にも対応した業務継続計画

浸水した下水処理場

出典）国交省ホームページ

ガイドラインの作成

多数の国の業務実績があり、最新動向に基づく提案が可能

◆代表的な国の業務実績◆

【H28 新たな雨水管理計画に関する指針作成等検討業務】

【R2 下水道による総合的な都市浸水対策の推進方策検討業務】他多数

あなたの街の浸水対策を一歩先へとすすめましょう

靴下がズブズブになるのは、もうイヤ！